



氷川町議会だより

清流 ひかわ

No.40

令和3年
6月定例会

日本の伝統畳文化を守る

P 2 令和3年度 一般会計補正予算決まる

P 4 常任委員会審査報告

P 6 そこが聞きたい
4議員が町政を質す

P10 議会日誌

P11 意見書採択

P12 スポット 原田のガメ

令和3年
6月議会

新型コロナ予防対策強化・ワクチン集団接種本格化 町道3路線の改良工事着工へ

令和3年度 一般会計補正予算 1億5414万1千円 決まる

専決処分

○令和2年度氷川町一般会計補正予算（第13号）
歳入歳出予算の総額に、それぞれ1644万円を追加し、予算の総額を84億6718万円とするものです。

主な歳出予算は、保育所施設給付費補助金の増額です。

○氷川町税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律が3月定例会閉会後に国会において成立したため改正したものです。

条例の一部改正

○押印廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

行政手続きの見直しに伴い、申請書等への押印を廃止するため関係条例を整備するものです。

○氷川町公園条例の一部改正

氷川町が管理する公園に新たに整備した「宮原防災公園」を追加するものです。

○氷川町災害対策本部条例の一部改正

災害対策基本法の一部改正に伴い、条例を一部改正するものです。

○氷川町介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少したこと等に伴い介護保険料の減免期間が延長されたため。

○氷川町地区公園条例の一部改正

下宮はまどん公園から宮原防災公園に移管することに伴うもの。

補正予算

○令和3年度氷川町一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億5414万円を追加し、総額を66億5711万円とするものです。

主な歳出予算

●総務費

ペーパーレス会議システム導入委託料227万円

●民生費

子育て世帯生活支援特別給付金 1000万円
保育対策支援事業費国庫補助金返還金 180万円

●衛生費

会計年度任用職員報酬、
ワクチン接種対策費 567万円

●農林水産業費

攻めの園芸生産対策事業費補助金 104万円
県営事業負担金 263万円



コロナワクチン接種（健康センター）

●商工費

営業時間短縮要請協力金事業負担金 341万円

●土木費

町道島地松本橋線道路改良用地測量業務委託料 260万円
町道島地松本橋線道路改良工事 2400万円
町道北川反甫北鹿野線道路改良工事 6600万円
町道河原鹿島西網道線道路改良工事 2000万円
町道島地松本橋線道路土地購入費 200万円

電柱移設補償金 500万円

●消防費

備品購入費 134万円
防災公園管理費 46万円

●教育費

コロナウイルス感染症対策用品 334万円
弁護士委託料 39万円
地区集会所施設等建築費補助金 44万円

令和3年度氷川町主要施策に関する意見交換会

令和3年5月11日に氷川町文化センターに於いて、熊本県議会小早川宗弘議長はじめ坂田孝志県議・高野洋介県議・磯田毅県議と藤本町長はじめ氷川町行政の課長全員、そして氷川町議会米村議長及び全議員が参加して意見交換会を行いました。

主に、県営事業関係の要望を氷川町議員から5人の議員が現在着工物件や、今後計画される案件で質問並びに意見交換をしました。

議会を代表し、八間川浚渫・下池の浚渫については、三浦議員。大野交差点改良事業の進捗に対して工事早期着工については、長尾議員。宇城氷川スマートICアクセス道路の県道昇格については、上田^{（後）}議員。二級河川八間川改修促進及び鹿児島本線鉄道橋改修促進については、片山議員。氷川警察署跡地の住宅については、西尾議員が直接県議に要望しました。

県議からは、氷川町の施策について積極的に後押しする。議会も県議と協力し、県へ要望を確認しました。



○専決処分の報告及び承認
令和2年度氷川町一般会計補正予算
(第13号)

ふるさと氷川応援基金は

西尾委員 ふるさと氷川応援基金は特別会計への充当はできるのか。

企画財政課長 ふるさと氷川応援寄附条例では、地場産業の育成、医療及び健康づくり、教育及び子育て支援、環境保全及び景観の維持、地区づくり、その他町長が認める事業の6項目に充当するとなっています。特別会計への充当は考えておりません。

西尾委員 令和2年度のふるさと応援基金の最終積立額はいくらか。
企画財政課長 1億2340万4000円程度を見込んでいます。



ふるさと納税返礼品

○専決処分の報告及び承認
氷川町税条例の一部を改正する条例

固定資産税条例の改正内容は

西尾委員 氷川町税条例の固定資産税の改正の具体的な内容は。

総務課長 令和3年度限りの措置として、新型コロナウイルス感染症により社会経済や住民生活環境が変化したことを踏まえ、負担調整措置等により税額が増加する土地について、令和2年度の課税標準額に据え置くものです。

○押印廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

押印廃止の内容は

西尾委員 規則等は全部で何本の改正があっているのか。

総務課長 規則及び要綱等の改正は216件です。押印廃止になった件数は712件です。

西尾委員 すべての書類について押印が不要になったのか。

総務課長 一部必要なものがあり

ます。
詳しくは、担当課に確認して頂きたい。

○氷川町公園条例の一部を改正する条例

宮原防災公園の管理は

上田俊委員 宮原防災公園の管理体制はどのようなのか。

総務課長 日頃利用される有志の方々に「宮原防災公園管理組合」を設立し、週1回のトイレ清掃と除草作業を、今年度は4回お願いする予定で、管理委託料を9ヶ月分22万5000円計上しています。

○令和3年度氷川町一般会計補正予算(第1号)

上田俊委員 地区集会所施設等建築費補助金は何処の地区の分か。

生涯学習課長 島地公民館のフーリングの張替えと宮園公民館の和室の床をフーリングに改修するものです。

西尾委員 弁護士委託料が計上されているが、どの程度の期間を見込



宮原地区防災公園

んでいるのか。

生涯学習課長 1年程度と聞いています。

西尾委員 小学校と中学校の備品購入費が高額である。何を購入するのか。

学校教育課長 コロナウイルス感染症対策等の学校教育活動継続支援事業として、2分の1の国庫補助事業です。1校当たり補助限度額が40万円となっており、各校で必要な備品及び消耗品を購入するものです。

総務文教常任委員会に付託された議案は、全て全員賛成で原案のとおり可決しました。

産業建設厚生常任委員会審査報告

委員長 清田一敏

○専決処分の報告及び承認
令和2年度氷川町一般会計補正予算(第13号)

何故今の時期に専決処分

吉川委員 保育施設給付費補助金について専決されたが、何故今になったのか。

福祉課長 保育施設への給付額を計上すべきだったが、補助金申請の基準額を計上したため不足が生じたものです。今後チェックをしっかりとしていきたい。

○令和3年度氷川町一般会計補正予算(第1号)

子育て世帯生活支援特別給付金の対象者は

吉川委員 子育て世帯生活支援特別給付金の対象者の条件と支給方法、周知はどのようなか。

福祉課長 対象者は住民税均等割りの非課税世帯と今年1月以降コロナの影響で非課税相当になった方です。

支給は4月の児童手当、特別児童扶養手当受給者は申請不要、口座に



コロナワクチン接種(健康センター)

振り込みます。非課税相当者は申請が必要となります。周知はホームページ、広報誌、対象者へ通知によりお知らせします。

64歳以下のコロナワクチンの接種体制は

吉川委員 ワクチン接種したい人が順調に接種できるような体制を取ってもらいたい。

町民課長 オンライン予約導入により申し込みの可能性は大きくなります。健康センターでの操作説明のサポート等を行い、周知にも力を入れていきたい。

園芸生産対策事業補助金申請は

木下委員 攻めの園芸生産対策事業費補助金の申し込み件数は。

農業振興課長 今回はJA園芸部で取りまとめた申請で、露地野菜の強化型単棟育苗ハウスです。

営業時間短縮要請協力金

吉川委員 営業時間短縮要請協力金事業の対象店舗はどのような業種か。

地域振興課長 飲食業で、午後9時までの時間短縮に対応した事業者です。

協力金の支払い遅い、経営の支援は

長尾委員 協力金の支払いまでに数か月かかると聞いたが、支給までに経営持続できるような支援は検討していないのか。

地域振興課長 町独自の事業継続応援金があるので活用して頂きたい。

道路新設改良工事

吉川委員 町道3路線の工事請負費の内容。地区からの要望かそれとも道路整備基本計画に沿ったものか。
建設下水道課長 島地松本橋線は幅員の拡幅で地区要望です。

町道北川反南北鹿野線は竜北中学校入口より東側の歩道拡幅で道路整備計画、河原鹿島西網道線は西部小学校から南鹿野地区への道路改良で道路整備計画によるものです。

産業建設厚生常任委員会に付託された議案は、全て全員賛成で原案のとおり可決しました。



町道改良工事(町道北川反南北鹿野線)

一般質問

Q：氷川町長選挙出馬の決意を

A：氷川町のさらなる発展のため
微力ながらも責務を果たしたい



上田 俊孝
議員

議員 現在、コロナ禍で氷川町でも陽性者が出ています。そのような状況の中、藤本町長は的確なまん延防止策及び支援策を次々と打ち出され、ワクチン接種も個別接種はすでに始まっており、集団接種も11日から開始と聞いております。一日でも早く全員の皆さんにワクチン接種ができればと思います。

藤本町長におかれましては、熊本地震の復旧復興から始まり、地域防災計画の策定、防災行政無線の更新、防災公園3カ所の整備着手。長年の懸案事項であった大野交差点の改良事業、八間川の浚渫、スマートインター隣接地への企業誘致等順に進んでおります。また、氷川警察署跡地の住宅政策も着手され、小中学校ではエアコン整備やICT事業も進んでおります。子育て支援では八代北部

地域医療センター内への病中病後児童保育施設の整備、福祉タクシー実証実験事業があげられます。

藤本町長は第2次氷川町総合振興計画で示された「小さな町で大きな幸せを感じる田園都市氷川」の創造を目指し、町の発展に尽力されています。そして、藤本町長の4期目の町政に期待する声をよく聞きます。藤本町長の氷川町長選挙の出馬についてお考えをお聞きしたいと思います。



対話と協調・均衡ある発展を目指して町政に取り組んできた

町長 町長に就任して以来、安心して暮らせ幸せを実感できるまちづくりを政治理念として、町民の皆様並びに議会との対話と協調を念頭に置き、

均衡ある郷土の発展を目指して全身全霊を傾注して町政の運営に取り組んで参りました。

3期目の4年間は、熊本地震からの復旧復興を最優先に取り組み、地震発生から4年で被災者支援を成し遂げるとともに、仮設住宅につきましては現在町有住宅として活用し、独創的復興につながったと感じております。熊本地震の経験を踏まえ、役場庁舎への災害対策室並びに駐車場の増設、防災行政無線のデジタル化、地区別防災計画を策定し、緊急時の一時避難場所としての防災公園に着手をいたしました。併せて、住民生活の向上を図るべく町単独事業や教育環境の充実・整備、企業誘致並びに懸案事項でありました下水道宮原処理区の広域編入、竜北地区湛水防除事業、大野交差点改良事業など推進しているところです。

昨年から全世界で発症した新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらず第4波を迎えております。重症化予防のワクチン接種を早期に完了させることも、その影響で沈滞した地域経済の活性化が急務となっております。氷川町が誕生して16年目を迎え、

持続可能な基礎自治体としての礎を築く重要な時期も迎えております。

喫緊の課題解決に尽力することはもとより、私自身の手がけた様々な事業を着実に推進し結実させることも、10年後20年後の氷川町の姿を見据えた新しい種をまいていかなければなりません。気力も体力も充実しており、ふるさと氷川町を思う心は深まるとともに、町民の皆様が安心して暮らせ、幸せを実感できる氷川町をつくり上げたいという気持ちがさらに強く湧き上がっております。

初心を忘れず我が故郷のさらなる発展のため責務を果たす

町長 初心を忘れず、真摯に行政運営に取り組む、我が故郷氷川町のさらなる発展のため、微力ながら、その先導役としての責務を果たしていきたいとの強い思いから、本年10月執行予定の町長選挙へ4期目を目指して立候補する決意をいたしましたので、ここに表明いたします。

議員 町民のトップリーダーとしての手腕を発揮していただけることを強く願います。

Q：道路整備の優先順位はどのように決めているのか

A：緊急性や危険性が高い箇所を優先的に
選定している



吉川 義雄
議員

議員 町内の道路は「路面が亀の子状態、大変ひどいので早く整備をしてほしい」「ガタガタして自転車では通れない」「白線が消えていて危ない」という声が強く寄せられている。

令和3年度当初予算に町道5路線の整備費が計上されたが、すべて「地区から要望があったもの」と説明があったが、地区からの要望が沢山あるなかで、整備を着工する順番はどのようにして決めているのか。

建設下水道課長 道路施設の老朽化に伴い改修の要望が多くあることは承知しています。例年の地区要望、区長会議、町政懇談会でも強く要望があり、行政として日頃から道路の巡回・巡視を通して強く認識しています。

本年度計上した道路改良工事5路線の選定は、緊急車両通行の確保、災害時における避難路の整備、危険性の高い箇所の事故減少対策、災害を未然に防止すること、緊急性や危険性が高い箇所を優先的に選定しています。

議員 今後の道路整備は、令和3年度地区要望も反映す

るのか。議会とも協議し、優先順位をもっと判りやすくしてほしい。

建設下水道課長 優先順位については担当課で判断させていただきませんが、どういった所から進めるかは議会とも相談をしながら決定していきたいと考えています。

議員 平成23年度に「氷川町道路整備基本計画」が策定された。計画には、短期10年以内に60路線（箇所）の整備計画があるが、整備状況はどうなっているか。

道路整備基本計画策定後、熊本地震、熊本豪雨など大規模災害があった。インターチェンジも出来て交通形態・交通量の変化など道路環境も大きく変わってきたので「氷川町道路整備基本計画」の見直しが必要ではないか。

建設下水道課長 道路基本整備計画で短期10年以内に完了・着工としているうち着工または完了したのが40カ所、未着工が19カ所です。

計画当時から現在に至る中で、広域的な道路網の変化、自然災害の激甚化、頻発化やコロナ禍による人流・物流の激変など交通形態も激変して

います。将来を見据えた計画の策定は難しいものがあります。

防災公園周辺道路の整備を急ぐべき

議員 大規模災害から住民の命を守る対策が求められている。氷川町では防災公園の整備が始まり、野津防災公園に続き、宮原地区、東網道地区に防災公園の整備が進められている。防災公園の機能を最大限発揮させるためには公園の設備充実と周辺の道路整備が特に大事。しかし、防災公園の周辺道路はごも狭く車の離合など解決しなければならぬところばかりではないか。

幅員など問題もあるので
改良事業を進める

建設下水道課長 防災公園は住民の命を守るために重要なものであり、避難経路の確保はとても大切と認識しています。野津防災公園の接続道路町道高野道力ード島地線は狭い幅員なので道路改良事業に取り掛かっています。宮原



宮原地区防災公園周辺道路

防災公園は住宅地の一角で、道路の拡幅は難しいが、接続交差点など幅員が狭く避難路として問題もあるので、改良事業を進めています。網道防災公園は幅員に問題ない、交差点等は検討が必要と考えています。

議員 熊本豪雨からの教訓を生かし道路整備を進めなければならぬ。防災公園ができて住民の命を守る対策ができたが、防災公園が最大限有効に発揮できるようにするためには、周辺道路の整備が何よりも大事です。早急な道路整備を強く求めます。

一般質問



西尾 正剛
議員

Q：下水道事業の公営企業会計移行の必要性和移行後はどういった事業運営か？

A：企業会計への移行は、経営基盤の強化や経営の健全化を図る上で必要

議員 令和3年度の下水道事業特別会計の当初予算で、公営企業会計移行への業務委託として2760万円が予算立てされている。令和5年からの移行と説明があったが、どのような利点と必要性から移行するのか。

建設下水道課長 下水道事業は生活及び経済社会活動に不可欠な事業です。しかし、下水道整備は、先行的に工事を行う必要があり、財政運営上大きな影響があります。下水道事業の経営基盤の強化及び安定経営を行うには、経営の健全化や計画性、透明性を高めながら行っていく必要があります。現在の官公庁会計方式は、現金の収入・支出という事実に基づいて行う現金主義会計のため、将来の経営安定につながるが見当がつきません。企業会計を行うことにより、収入、コスト、資金調達状況が適切に区分して表示される財務諸表を通して事業の経営状況を分析することができま

ます。企業会計への移行は、経営基盤の強化や経営の健全化を図る上で必要と考えます。

議員 令和3年度の下水道事業特別会計の当初予算で、公営企業会計移行への業務委託として2760万円が予算立てされている。令和5年からの移行と説明があったが、どのような利点と必要性から移行するのか。

建設下水道課長 下水道事業は生活及び経済社会活動に不可欠な事業です。しかし、下水道整備は、先行的に工事を行う必要があり、財政運営上大きな影響があります。下水道事業の経営基盤の強化及び安定経営を行うには、経営の健全化や計画性、透明性を高めながら行っていく必要があります。現在の官公庁会計方式は、現金の収入・支出という事実に基づいて行う現金主義会計のため、将来の経営安定につながるが見当がつきません。企業会計を行うことにより、収入、コスト、資金調達状況が適切に区分して表示される財務諸表を通して事業の経営状況を分析することができま

ます。企業会計への移行は、経営基盤の強化や経営の健全化を図る上で必要と考えます。

議員 来年度下水道使用料を見直すとのことだが、時期と使用料金の上げ幅は、また現在宮原処理区と竜北処理区で使用料に差があるが、今後一本化されるのか。

建設下水道課長 汚水処理原価は平成26年から令和元年の平均で、1㎡当たり184円ですが使用料は1㎡当たり128円で56円の差があります。段階を踏みながら、汚水処理原価と同程度迄の引き上げを検討しています。更に宮原浄化センターの廃止、八代北部浄化センターへの編入、公営企業会計導入と下水道経営が変化していきますので、分析しながら料金見直しを考えています。宮原処理区と竜北処理区の使用料の差は、処理場の違いです。宮原処理区



中継ポンプ場建設（宮原浄化センター内）

も八代北部浄化センターへ編入予定であり、料金改定の際は統一したいと考えています。

水洗化加入推進は？

議員 水洗化率は宮原地区98パーセント、竜北地区67パーセント弱で、水洗化率は昨年と変化ないにもかかわらず、予算上は受益者負担と下水道使用料は年々減少している。加入推進の取組みはどう行われているのか。

建設下水道課長 受益者負担の減少は、新たな下水道整備家屋と新築家屋のみになっ



木下 厚
議員

Q：下水道事業の受益者負担は適正か

A：償還に合わせて料金の見直しが必要

議員 下水道事業は、毎年度、一般会計より繰入れて事業が継続しているが、受益者負担は適正なのか。また、事業債残高はどうなっているか。

決算時点で32億3917万円

建設下水道課長 下水道事業債の令和2年度末現在高は、決算の時点で32億3917万2千円です。

議員 令和3年度の予算書では、総額4億9514万6千円で、加入者分担金及び使用料が1億3102万6千円ですが、対策は考えているのですか。

建設下水道課長 他の町債や繰越金等の財源を除いた残りの一般会計繰入金金が2億8681万7千円あります。この繰入金については、下水道事業債償還元金繰入基準に基づくもので、その分が2億1079万7千円あります。それ以外が繰入基準に基づかないものになりますが、その中に人件費として2147万3千円ありますので、実際の事業費補填に係る繰入金金は、5

454万7千円になります。

他の事業に支障もあるので適正化の考えは

議員 毎年度一般会計より繰入金が発生しています。他の事業に多少なりとも支障があると考えますが、早く適正化に努める考えはあるのでしょうか。

下水道使用料を据え置いたことも一因と考える

建設下水道課長 現在、八代北部流域下水道に接続するための事業を行っています。その事業は、令和5年度で終了します。下水道事業債は償還期間が30年ですので、償還は徐々に減少する見込みです。以上のことから、事業費補填分の5454万7千円が一般財源に依存している結果になります。これは、下水道使用料を合併当初から据え置いていることが一番の要因と考えています。

議員 下水道事業は環境を守る事業です。町長の考えを

聞かせてください。

これまでの経緯を踏まえ、料金の見直しを

町長 下水道事業につきま



八代北部浄化センター

議会活動日誌 4月～7月

月日	行事内容	出席議員
4月 5日	全員協議会	米村議長・松田副議長・議員全員
4月 6日	春の交通安全運動 町内巡視	米村議長 松田副議長
4月 9日	議会広報調査特別委員会（議会だより編集）	吉川・河口・片山・長尾議員
4月12日	監査 例月出納検査	長尾議員
4月15日	春の交通安全運動 町内巡視	米村議長 松田副議長
4月15日	議会広報調査特別委員会（議会だより編集）	吉川・河口・片山・長尾議員
4月19日	氷川分水路についての県説明	米村議長 松田副議長・片山・清田議員
4月22日	議会広報調査特別委員会（議会だより編集）	吉川・河口・片山・長尾議員
4月22日	県議との意見交換会 町長からの説明	米村議長 松田副議長・三浦・片山・清田議員
4月27日	清流氷川流水対策協議会監査	米村議長
4月27日	2号導水路の橋梁拡幅について県との協議	米村議長 松田副議長・片山・清田議員
5月 6日	全員協議会	米村議長・松田副議長・議員全員
5月11日	県議会議員・町議会議員交えた氷川町主要施策に関する意見交換会	小早川・高野・坂田・磯田県議 米村議長・松田副議長・議員全員
5月12日	監査 例月出納検査	長尾議員
5月17日	監査 備品監査【5月17日～19日・25日～26日】	長尾議員
5月20日	議会運営委員会	三浦・上田健・片山・上田・清田・西尾議員
5月31日	議会運営委員会	三浦・上田健・片山・上田・清田・西尾議員
5月31日	氷川町防災会議・水防協議会	片山・清田・上田俊議員
6月 7日	氷川町議会 本会議 議案提案・説明・質疑	議会議員
6月 8日	氷川町議会 本会議 一般質問	議会議員
6月 9日	氷川町議会 総務文教常任委員会	片山・松田・三浦・上田俊・西尾・米村議員
6月 9日	氷川町議会 産業建設厚生常任委員会	清田・河口・上田健・長尾・吉川・木下議員
6月11日	氷川町議会 本会議 採決	議会議員
6月15日	監査 例月出納検査	長尾議員
6月22日	八代広域行政事務組合議会正副議長会議	上田健議員
6月24日	議会広報調査特別委員会（議会だより編集）	吉川・河口・片山・長尾議員
6月25日	監査 補助金監査【6月25日～30日】	長尾議員
6月29日	八代広域行政事務組合議会臨時会	上田健・西尾議員
6月30日	梨マラソン大会運営委員会	米村議長
7月 7日	立神峡水難防止対策連絡会	米村議長
7月 8日	議会広報調査特別委員会（議会だより編集）	吉川・河口・片山・長尾議員
7月 9日	監査 例月出納検査	長尾議員
7月15日	水難事故防止祈願祭	清田議員
7月15日	宮原防災公園開園式	米村議長・松田副議長・議員全員
7月15日	議会広報調査特別委員会（議会だより編集）	吉川・河口・片山・長尾議員
7月19日	監査 決算審査【7月19日～21日・26日～30日】	長尾議員
7月20日	議会常任委員長・議会運営委員長研修会	片山・清田・三浦議員
7月21日	議会広報調査特別委員会（議会だより編集）	吉川・河口・片山・長尾議員

宇城氷川スマートインターチェンジ
アクセス道路の県道昇格に関する意見書

平成28年開通のスマートーCアクセス道路は、宇城・八代地域の広域的な発展に必要不可欠な道路として、その重要な役割を担っています。国道3号交差点で約4350台、スマートーC入口交差点で5270台が通過し、スマートーCの利用数は2300台（令和元年12月・一日当たり）となっており利用車両台数も想定を大きく上回っています。本路線は宇城市道と氷川町道からなっており、その管理体制を一元的に合理的管理することで、さらなる円滑で安全な通行の確保が可能になります。

地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を採択、米村洋議長名で熊本県蒲島郁夫知事に提出しました。



高速インターへのアクセス道路（高塚）

一部事務組合議会報告

町の事業を八代市と共同して行っています。

八代広域行政事務組合議会

令和3年6月29日広域行政事務組合議会臨時会が行われました。

主な議案は、職員の給与条例の一部改正、特殊勤務手当条例の一部改正、財産の取得について（2件）。

提出議案は、全て全会一致で可決されました。（組合議員の西尾正剛、上田健一議員が出席）

人権擁護委員候補者の推薦に同意

氏名 甲斐 貴裕
住所 氷川町宮原

藤本一臣町長から、人権擁護委員候補者の推薦について議会の同意を求められました。慎重に審議し、全会一致で推薦に同意しました。

令和3年6月議会 主な議案に対する各議員の賛否

議員名	西尾正剛	木下厚	河口涼一	清田一敏	長尾憲二郎	吉川義雄	上田俊孝	三浦賢治	上田健一	松田達之	片山裕治	米村洋
議案名												
専決処分 令和2年度氷川町一般会計補正予算（第13号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
専決処分 氷川町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
押印廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
氷川町公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
氷川町災害対策本部条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
氷川町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
氷川町地区公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度氷川町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
宇城氷川スマートインターチェンジアクセス道路の県道昇格に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○ 賛成・同意 ● 反対 ▲ 棄権 — 表明無し

スポット

原田のガメ

(ハッダンガメ)

歴史の古い宮原三神宮には、指定・未指定に関わらず、多くの文化財があります。今回は、原田のガメ(亀蛇)を紹介します。

原田のガメは、三神宮の秋の大祭における神幸式で披露される民俗芸能です。



原田地区と中島地区(八代市鏡町)で交互に行っています。元々、ガメは小川町出来町(宇城市小川町)の小川阿蘇神社に奉納されていました。明治13年、中島村(当時)が譲り受けました。翌年、出来町で流行性感冒が流行り、ガメを譲ったため

亀と蛇を合わせた想像上の生き物で、妙見信仰(北極星を神格化した信仰)と関わりと考えられ、原田のガメは八代妙見祭のガメに由来しています。県内では八代神社、三神宮、小川阿蘇神社、河江神社に見られ、よく知られるガメですが、県外では類例がなく、全国的にも珍しいものです。

そこで原田地区に返還をお願いしましたが、応じてもらえず、新しく作成して奉納したところ、感冒はなくなったと伝えられています。

こうしたことから、大祭にはガメの尻尾の赤い糸をもらつと、感冒にかからないとされています。ガメは



●表紙のひやしや



緑色の鮮やかなイ草、日本の伝統文化畳表の原料です。イ草刈りは早朝からの仕事、今年の出来はどうですかと尋ねると、「色もいい、いいちゃんが一番いい物ができたと言ってくれた」と明るい笑顔で答えてくれました。

●編集後記

議会広報紙清流ひかわ33号から40号まで担当してきました。コロナ禍で議会議場での傍聴が出来ないなど、議会活動も制約される中、議会での議案審議や委員会活動など、日頃の議会活動の様子を知ってもらつことを大事にして編集をしてきました。また、町民の皆さんにも登場してもらいたいと表紙も一新し、町民の皆さんに読んでもらえるようにと研鑽を重ねて参りましたがどうだったでしょうか。

広報紙作成にご協力いただいた町民の皆さん有難うございました。

発行責任者	米村 洋
委員長	吉川 義雄
副委員長	河口 涼一
委員	片山 裕治
委員	長尾憲一郎

